

イ 県 指 定

事業区分	補助事業者	名 称	種 別	事業内容	金 額			
					総 額	県	市町村	地 元
史跡等購入	相馬市	中村城跡	史跡	土地買収	千円 12,682	千円 6,340	千円 6,342	千円
建造物防災施設	法用寺	法用寺三重塔	県重文	防災施設	4,500	2,600	950	950
建造物保存修理	田島町	旧南会津郡役所	〃	壁修理	2,051	1,000	1,051	
美術工芸品 防災施設	護真寺	木造宝冠 釈迦如来座像	〃	収蔵庫設置	1,200	800	200	200
記念物保存修理	いわき市	上平窪のシノキ群	天記	枯枝の剪定 及び整枝	600	300	300	
				5 件	21,033	11,040	8,843	1,150

ウ 大内宿保存特別対策事業の推進

南会津郡下郷町大内宿は、昭和56年4月18日付、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されたが、本年度は2年目に当り、次の事業を実施した。

○国庫補助事業 茅屋根の葺替・修景 10戸

○県単独補助事業

生活道路の工事費及び用地買収費、並びに本陣建設予定地内の建物移転補償費に対する県費助成補助率 $\frac{1}{2}$ 補助金 19,210千円

対する認識を深めるとともに、記録保存に努めた。

ア 期 日 昭和57年11月7日

イ 会 場 棚倉町亀ヶ城跡公園（棚倉小学校体育館）

ウ 主 催 県教育委員会、棚倉町、棚倉町教育委員会、福島県民友新聞社

エ 出演芸能 ハヶ久保・薄木の獅子舞（古殿町）小高の平鍛踊（玉川村）室原の田植踊（浪江町）初森の三匹獅子（岩代町）馬場都々古別神社の五人神楽（棚倉町）梅若歌念仏踊（泉崎村）八槻都々古別神社の神楽（棚倉町）棚倉豊年盆踊（棚倉町）

オ 観覧者 約 600名

⑤ 第24回北海道・東北ブロック民俗芸能大会

北海道・東北地方に伝承されている民俗芸能を広く一般に公開し、民俗芸能に対する認識を深めるとともに、その振興を図るため、各道県持廻りで開催されてきたが本年度は下記のとおり本県で開催された。

ア 期 日 昭和57年9月11日

イ 会 場 県文化センター

ウ 主 催 福島県教育委員会

エ 共 催 第24回北海道・東北ブロック民俗芸能大会
実行委員会、福島市教育委員会

オ 出演芸能 白河歌念仏踊（福島県）雄勝法印神楽（宮城県）和野神楽（岩手県）安久津延年（山形県）法霊神楽（青森県）津軽獅子舞（北海道）仙道番楽（秋田県）塩崎の田植踊（福島県）

カ 観覧者 約 800名

⑥ 第3回福島県民謡まつり

近年の急速な社会情勢の変化に伴い、仕事や生活に密着して伝承されてきた民謡も変化をとげ、古来の姿は日ごとに失いつつある。これらの民謡を発掘して、できる限り本来の姿で再現して一般に公開し、記録保存に努めた。

ア 期 日 昭和57年8月25日

イ 会 場 会津若松市民会館

ウ 主 催 福島県教育委員会、会津若松市教育委員会、

(4) 文化財活用の促進

① 県指定文化財の施設整備

文化財に対する理解と認識を高め、地域住民の文化財愛護精神の高揚を図るため、昨年度に引続き2年目として次のとおり設置した。

本年度設置市町村 14市町村

	説明板	標 柱	方 案 内 柱	計
建 造 物	4	5	2	11
史 跡	11	15	7	33
名 勝 及 び 天 然 記 念 物	15	13	3	31
計	30	33	12	75

② 文化財保護強調週間

11月1日から7日まで、県庁本庁舎正面に垂幕による啓発を行った。

③ 文化財防火デー

毎年1月26日を文化財防火デーと定めているが、県内各消防署等の協力を得て、県内各市町村で防火訓練、防火診断・査察を実施した。

県教育委員会においても、チラシを作成配布し、文化財の防災に対する啓蒙を行った。

④ 第32回福島県民俗芸能大会

県内に継承されている民俗芸能を公開し、民俗芸能に